

日本のカエルで最も出会うのが難しいと言われているコガタハナサキガエルは、世界で西表島と石垣島の溪流の上流部の限られた狭い範囲にしか生息していない。個体数も少ない。秘境オブ秘境にいる希少なカエルだ。

さすがに自力で探すのは無理なので、ガイドの堀井さんに案内していただく。今回の西表島研修では、例年通りの琉球大の先生による「マングローブ林実習」に加え、新たに、西表島の生物を知り尽くした堀井さんによる「夜間実習」を企画し、研修の2本の軸とした。西表研修の参加生徒は、本気で将来も生き物系の進路に就きたい生徒がほとんどだ。研究者とはまた違う“プロの生き物屋”である堀井さんにぜひ生徒たちを会わせたいと思っていた。

夜の探検スタート！と全員長靴&ヘッドライト姿で意気揚々と堀井さんについて行くが…え？！堀井さんめっちゃ足が速い！限られた時間で珍しい生き物を見つけなければならないので、小走りに近い速度でずんずん山道を登っていく。さらに驚いたことに、高速で移動しながらも堀井さんがバンバン生き物を見つけていく。「あそこにアカショウビンが寝てます」「あ、アオガエルだ」

「コノハズクの親子いました」…という様子。堀井さんの生物探索能力にみんなですげえと舌を巻いた。

この日、台風で川が増水した影響で予定していたポイントには行けず、急遽第二ポイントへ。そこはコガタハナサキの個体数は少ないというのでちょっと心配だった。高速登山の末たどり着いた最初の場所では、コガタハナサキどころかカエルが一匹もない！ちょっと焦る。「もう一箇所行ってみましょう！」と案内された場所に望みを託す。その場所は相変わらずの悪路で非常に歩きにくい。知らなきゃ絶対来れないだろう。「こういうところにしかないのが、日本一出会いにくいと言われる所以です。」という堀井さんの言葉に頷いてしまう。ちょっと高校生対象としてはキツすぎたかなと心配になった。夜の溪流での生き物探しに少し弱音を吐く生徒が出てくると「君らはこれがしなくて西表島まで来たんだろ？！」と堀井さんが笑顔で鼓舞してくれる。それに対して「その通りです！」と即答するショウタロウが頼もしい。今年のメンバーは今までで一番の生き物好きの強者が揃ったと思う。疲れた様子も見せずみんな楽しんでた。ぼくの心配は杞憂だったようだ。

しばらくして、「いましたよ！」という堀井さんの声にみな一気にテンションが上がる。**念願のコガタハナサキガエルだー！！**背中がわずかに緑がかった美しい姿が神々しく見えた。国内最難関種を野生で見れるなんて…！うーん贅沢！

堀井さんは、「一般人をこういうポイントに連れて来ると、『もっと簡単に見れると思ってたのに…』と言って二度と一緒に来てくれなくなるんです（笑）」と言っていた。それに対してユイやワカナが「私はまた行きたい！」「個人で来ても堀井さんにガイド頼めるんですか？！」と言う。さすがうちの生徒だなあ。頼もしい限り。ミフミは「本物の生き物屋の格の違いを思い知らされた…」と堀井さんに圧倒されていて、やはり会わせて良かったと思った。移動中含め堀井さんにたくさんインタビューをして、最後にはみんな堀井さんの図鑑にサインも貰って、最高の夜が終了した。



正面顔
か、かわいすぎる…。



コガタハナサキガエル *Odorrana utsunomiyaorum* 西表島
西表島と石垣島の山奥の溪流部にのみ生息する日本固有種。体長5cm程。環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠB類。茶色っぽいものから、背面が緑色の個体もいる。この個体はやや緑がかった。



撮影の様子

上の写真とは別個体。この夜は計2匹発見できた。思った以上に近づいても動かない。それだけ跳躍力に自信があるのでは？とのこと。



夜の西表島の森の中を行く

道なき道をずんずん進む。カエル以外にもたくさん生き物に会えた。堀井さんは一人で森に入り夜通し歩き続けることもあるらしい。